



鈴木 茂晴

日比野 隆司

真の「資産管理型ビジネスモデル」を目指して

大和証券グループは、「信頼の構築」「人材の重視」「社会への貢献」「健全な利益の確保」の4つの柱からなる「企業理念」を制定し、さまざまなステークホルダーの皆様の期待に応えるべく、それぞれを具体的に経営へ落とし込み、実現に向けて取り組んでいます。

この度の「統合報告書2016」の制作・発刊においては、2015年度の初めに発表した第7次中期経営計画にあたる「中期経営計画“Passion for the Best” 2017」(以下、「中計」)の進捗状況をご説明するとともに、この中計と「企業理念」にもとづいた、当社グループの取組みについてご紹介します。

中計初年度である2015年度は、外部環境が悪化するなかでのスタートとなりましたが、中長期で見れば、依然「貯蓄から投資の時代」に向かう、大きなビジネスチャンスが開けているという認識に変わりはなく、したがって中計の基本方針も変更はありません。

人生には、マーケット動向とは無関係に、ライフステージに応じて、また、それぞれのライフプランに応じて、資産形成、資産運用、あるいは相続に関連したニーズがあります。それらのニーズに対応する商品やサービスをお客様に対し適切に届けることで、信頼関係を構築し、真の「資産管理型ビジネスモデル」を確立していきたいと考えています。

一方で、株主の皆様には、お客様に付加価値の高いサービスを提供し、その正当な価値として得た健全な利益を確保することで持続的な収益力を高め、安定した増配基調を目指していきます。配当については、株主の皆様への利益還元を拡充するため、2015年度より配当性向を「30%程度」から「40%程度」に引き上げ、2015年度の通期の配当性向実績は42.5%となりました。

大和証券グループは、変化し続ける金融・資本市場において、強靱な経営基盤の確立を図り、安定的な利益を確保しながら企業価値を向上させていきます。「お客様に最も選ばれる総合証券グループ」となるべく、今後も大和証券グループの役職員が一丸となって取り組みます。ステークホルダーの皆様には、引き続きなお一層のご支援をよろしく申し上げます。

大和証券グループ本社
取締役会長

鈴木茂隆

大和証券グループ本社
執行役社長 CEO

岡比野 隆司